

6. 入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)

世界共生学部

・本学では、グローバル人材の養成に向けて、世界を舞台に活躍できる豊かな個性と人間味に溢れ、国際感覚を身につけた人材を育てることを目標にしています。そのため、4年間(編入学では、卒業まで)を通じた教育課程の中で、真の国際人に必要な豊かな教養、高い専門性、高度な外国語運用能力とともに、多言語・多文化に関わる深い理解及び人間的共感力・国際感覚を身につけるように教育を行います。

世界共生学部では、幅広く豊かな教養を礎に、高い言語運用能力を基礎としつつ、多文化共生時代に国内外で対処が必要な課題に対し高い見識と多角的な視野から対応できる豊かな人間性を備えたグローバル人材を育成します。

・その教育を受けるためには、国際人になるための意欲・関心、外国語を学ぶ意志が必要ですが、基礎的な能力・資質も必要です。世界共生学部世界共生学科では、英語を主専攻として学び、英語力は学びの最も重要な基礎力です。そのため、「英語」は入学試験において必修科目としています。また、外国語を学修するうえでその基礎となる国語力は欠かせないもので、さらに、外国語の習得を深化させていくためには、幅広い分野についての基礎学力も大変重要です。従って、世界共生学部では「英語」の能力が高い者を選抜することを重視しつつ、「国語」などの他教科の基礎学力についても充分配慮して、入学者選抜を実施します。

■選抜方法

【一般入試】

英語・国語を中心とする個別学力検査並びにセンター試験の利用、また、その両者を組み合わせることで、教科・科目の学修能力を多面的・総合的に評価する試験

・前期A方式、前期M3方式、前期M2方式、前期プラスセンター方式、センター利用前期(3教科・5教科)・後期(2教科)、後期の各試験

【推薦入試】

推薦基準(評定平均値<全体・外国語>、取得資格など)による出願資格を満たす者を対象に、調査書(両選抜方式)・適性検査(一般公募推薦)・面接(指定校推薦)による選抜

・一般公募推薦、指定校推薦の選抜方式

【特別選抜入試】

資格取得、言語・異文化・国際社会への関心、海外での学修歴を有する者などを対象とし、適性検査(複数教科を統合した総合問題を含む)・小論文・面接などを組み合わせ、評価する選抜

・英語等有資格型、国際社会志向型、グローバル人材志向型、海外帰国生徒特別選抜などの選抜方式

・そこで、次のような人の受験を期待します。

・学ぶ意志と意欲をもち、そのために必要な英語力・国語力などの基礎学力がある人

・言葉(外国語・日本語)への強い関心がある人

・グローバル社会で、行動力を持って自分自身を高めていく意欲がある人

・世界の多様な地域・文化の人々との交流を深め、グローバルに活躍したい人

・グローバル社会で活躍できる語学力・専門的知識・技能を身につけたい人

・多文化共生社会を目指し、十分な共感能力・国際感覚を身につけたい人

学ぼうとする意欲、人へのやさしさ、社会への参加意識をもって入学してきて欲しいと期待します。

外国語学部

・本学では、グローバル人材の養成に向けて、世界を舞台に活躍できる豊かな個性と人間味に溢れ、国際感覚を身につけた人材を育てることを目標にしています。そのため、4年間（編入学では、卒業まで）を通じた教育課程の中で、真の国際人に必要な豊かな教養、高い専門性、高度な外国語運用能力とともに、多言語・多文化に関わる深い理解及び人間的共感力・国際感覚を身につけるように教育を行います。

外国語学部では、幅広く豊かな教養を礎に、言語・文化・社会についての高い専門性と高度な外国語運用能力を身につけ、多言語・多文化への豊かな共感能力と国際感覚をもった国際的教養人を育成します。

・その教育を受けるためには、国際人になるための意欲・関心、外国語を学ぶ意志が必要ですが、基礎的な能力・資質も必要です。外国語学部では、英米語学科（英米語専攻・英語コミュニケーション専攻）・英語教育学科・世界教養学科で英語を主専攻として学び、フランス語学科・中国語学科・日本語学科では英語を副専攻語として学びますが、英語を主専攻とする学科はもとより、副専攻語とする学科でも、英語力は学びの最も重要な基礎力です。そのため、「英語」はいずれの学科・専攻の入学試験において必修科目としています。また、外国語を学修するうえでその基礎となる国語力は欠かせないもので、さらに、外国語の習得を深化させていくためには、幅広い分野についての基礎学力も大変重要です。従って、外国語学部のいずれの学科・専攻においても、専攻する言語は異なる場合があっても、共通の入学試験を採用しており、「英語」の能力が高い者を選抜することを重視しつつ、「国語」などの他教科の基礎学力についても充分配慮して、入学者選抜を実施します。

■選抜方法

【一般入試】

英語・国語を中心とする個別学力検査並びにセンター試験の利用、また、その両者を組み合わせることで、教科・科目の学修能力を多面的・総合的に評価する試験

・前期A方式、前期M3方式、前期M2方式、前期プラスセンター方式、センター利用前期（3教科・5教科）・後期（2教科）、後期の各試験

【推薦入試】

推薦基準（評定平均値＜全体・外国語＞、取得資格など）による出願資格を満たす者を対象に、調査書（両選抜方式）・適性検査（一般公募推薦）・面接（指定校推薦）による選抜

・一般公募推薦、指定校推薦の選抜方式

【特別選抜入試】

資格取得、言語・異文化・国際社会への関心、海外での学修歴を有する者などを対象とし、適性検査（複数教科を統合した総合問題を含む）・小論文・面接などを組み合わせ、評価する選抜

・英語等有資格型、国際社会志向型、アジア事情探究型（中国語学科）、発信コミュニケーション型（日本語学科）、グローバル人材志向型（世界教養学科）、海外帰国生徒特別選抜などの選抜方式

・そこで、次のような人の受験を期待します。

- ・学ぶ意志と意欲をもち、そのために必要な英語力・国語力などの基礎学力がある人
- ・言葉（外国語・日本語）への強い関心がある人
- ・言葉を通して人への関心、グローバル社会に関心がある人
- ・外国語に関わる言語・文化・社会について高度な知識を身につけたい人
- ・外国語の高度なコミュニケーション能力を身につけたい人
- ・異なる文化や価値観に共感し、意思伝達ができる国際感覚を身につけたい人

学ぼうとする意欲、人へのやさしさ、社会への参加意識をもって入学してきて欲しいと期待します。

現代国際学部

・本学では、グローバル人材の養成に向けて、世界を舞台に活躍できる豊かな個性と人間味に溢れ、国際感覚を身につけた人材を育てることを目標にしています。そのため、4年間（編入学では、卒業まで）を通じた教育課程の中で、真の国際人に必要な豊かな教養、高い専門性、高度な外国語運用能力とともに、多言語・多文化に関わる深い理解及び人間的共感性・国際感覚を身につけるように教育を行います。

現代国際学部では、幅広く豊かな教養を礎に、キャリアに関わる高い専門性、高度な英語運用能力を身につけ、豊かな共感能力と国際感覚をもった国際的職業人を育成します。

・その教育を受けるためには、国際人になるための意欲・関心、外国語を学ぶ意志が必要ですが、基礎的な能力・資質も必要です。現代国際学部では、現代英語学科・国際教養学科・グローバルビジネス学科のいずれの学科でも、英語を主専攻として学び、英語力は学びの最も重要な基礎力です。そのため、「英語」はいずれの学科の入学試験において必修科目としています。また、外国語を学修するうえでその基礎となる国語力は欠かせないもので、さらに、外国語の習得を深化させていくためには、幅広い分野についての基礎学力も大変重要です。従って、現代国際学部のいずれの学科においても、共通の入学試験を採用しており、「英語」の能力が高い者を選抜することを重視しつつ、「国語」などの他教科の基礎学力についても充分配慮して、入学者選抜を実施します。

■選抜方法

【一般入試】

英語・国語を中心とする個別学力検査並びにセンター試験の利用、また、その両者を組み合わせることで、教科・科目の学修能力を多面的・総合的に評価する試験

・前期A方式、前期M3方式、前期M2方式、前期プラスセンター方式、センター利用前期(3教科・5教科)・後期(2教科)、後期の各試験

【推薦入試】

推薦基準(評定平均値<全体・外国語>、取得資格など)による出願資格を満たす者を対象に、調査書(両選抜方式)・適性検査(一般公募推薦)・面接(指定校推薦)による選抜

・一般公募推薦、指定校推薦の選抜方式

【特別選抜入試】

資格取得、言語・異文化・国際社会への関心、海外での学修歴を有する者などを対象とし、適性検査(複数教科を統合した総合問題を含む)・小論文・面接などを組み合わせ、評価する選抜

・英語等有資格型、国際社会志向型、専門学科・総合学科卒業生入試(グローバルビジネス学科)、海外帰国生徒特別選抜などの選抜方式

・そこで、次のような人の受験を期待します。

- ・学ぶ意志と意欲をもち、そのために必要な英語力・国語力などの基礎学力がある人
- ・言葉(外国語・日本語)への強い関心がある人
- ・英語を職業に関係づけて学びたい人
- ・各種キャリアに係る高度な知識とスキルを身につけたい人
- ・各種キャリアに係る高度な英語力を身につけたい人
- ・高度な英語力とキャリアスキルを統合し、グローバル社会で活躍したい人

学ぼうとする意欲、人へのやさしさ、社会への参加意識をもって入学してきて欲しいと期待します。